

## ハイチハリケーン「マシュー」 ハイチ駐在歴2年のスタッフが被災状況をお伝えします。 国際 NGO プラン・インターナショナル

2016年10月4日に、過去10年で最大規模の大型ハリケーン「マシュー」がハイチを直撃し、甚大な被害が出ています。農作物や家畜が被害を受け、道路や橋などのインフラ、多くの住居が破壊されました。死者は300人以上、約250万世帯が被災しています(2016年10月9日現在)。

### ハイチ国内での活動実績をいかして緊急支援

ハイチ国内において40年以上にわたり活動しているプランは緊急支援チームを被災地に派遣。ハイチ政府や他団体と連携し、活動地域である西部と南東部の約2万5000世帯に対し、日用品の支給や水・衛生活動、子どもの保護などの活動を行うため、支援準備を開始しました。

被災地では、プランの調査チームが情報収集と被災状況の分析を進めており、今後大きな支援ニーズが見つかった場合には、さらに支援活動を拡大する予定です。



破壊された住居

ハイチ駐在歴2年のスタッフが被災状況と支援内容をお伝えします  
公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンのスタッフ林美穂は、過去10年間にわたり、アジアやカリブ地域での開発途上国のコミュニティ開発支援に携わってきました。2013年11月より、プランがハイチ南東部および西県で実施している「水と衛生プロジェクト」の現地責任者として駐在し、現地のスタッフや地域住民とともに、コミュニティの給水設備の整備と地域住民への衛生知識の普及につとめています。今回のハリケーン「マシュー」で、同プロジェクトの実施地域も深刻な被害を受けています。



ハイチ駐在員の林美穂

日頃から、コミュニティ関係者や地域住民と密接に連携し、活動している林が、被災地からハリケーンの被害状況やプラン・インターナショナルの緊急支援について、現地より電話などでレポートいたします。

林職員へのインタビューやレポートの依頼は、下記までお問合せください。

### プラン・インターナショナルとは？

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために世界70カ国以上で活動する国際NGOです。創立は1937年。長年にわたり、子どもや若者、地域の人々とともに地域開発を進めてきました。すべての子どもたちの権利が守られるよう、とりわけ女の子や女性への支援に力を入れています。市民社会、政府機関や国際機関と連携しながら、世界を持続的に、前向きに変えていきます。

このリリースに関するお問い合わせ先

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 広報担当 後藤/久保田

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22-11F

TEL 03-5481-6517 FAX 03-5481-6200

[goto@plan-international.jp](mailto:goto@plan-international.jp)

携帯 080-3303-6712